

## 記者発表（資料配布）

月/日	担当課（室）係名	TEL（代表）	発表者名	資料配布先
5/24(木) 14:00	県立人と自然の博物館 生涯学習課	079 (559) 2001	部長 石田弘明 (小山恵介)	県教委記者クラブ 三田市政記者クラブ

### 収蔵資料スペシャル企画

#### 「標本のミカタ～コレクションから新しい発見を生み出す～」の開催について

##### 1 主旨

兵庫県立人と自然の博物館には、開館以来25年をかけて収集した160万点近くの昆虫や動植物、岩石・化石などの自然史系の標本や古写真などの資料が収蔵されています。これらの標本には、タイプ標本と呼ばれる新種として登録するための唯一無二の基準標本をはじめとする学術的な新発見の基盤となった標本、生物の過去の分布状況を証明するための標本、絶滅危惧種の分布状況の証拠となる標本など貴重なものが含まれています。また、良く似た種類を比較分類するためのセットとしてや、生物の形状の美しさ・面白さを伝える展示物として、様々な場面で収蔵標本が活用されています。しかし、博物館の収蔵標本のすべてを館内に展示することは物理的にも保存面でも難しいため、現状ではその多くが収蔵庫に保管されています。標本資料の収蔵は博物館機能の核心部分にも関わらず、この様相は気楽に見学してもらうことができませんでした。

そこで今年度から、普段は見るできない収蔵資料をテーマにもとづいて蔵出しする日を定め、収蔵資料から進化や自然、地球の成り立ち、まちの景観形成などについて読み解き方を解説するオープンセミナー「標本のミカタ」を始めます。毎月第2日曜日に開催し、テーマをちがえて全8回を予定しています。普段は、展示室でガラス越しにしか見るできない標本を、この企画では、実物を直接見られる状態で数多く陳列し、顕微鏡などの実験道具を使って、研究員が解説いたします。専門的な内容も含めつつ、見学される方に合わせて丁寧に解説いたします。関連のイベント・解説も同時に開催することで、標本が存在する意義を多様な観点からわかりやすく発信します。

- (1) 実施回数 : 全8回
- (2) 日時 : 平成30年6月～12月の第2日曜日と平成31年2月11日(月・祝) 13:00～16:30
- (3) 場所 : 兵庫県立人と自然の博物館 4階ひとくサロン等
- (4) 申し込み : 不要
- (5) 参加費 : 無料（ただし観覧料は必要）
- (6) 対象 : 対象は広く一般とします
- (7) 担当 : 兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員 三橋弘宗 [hiromune@hitohaku.jp](mailto:hiromune@hitohaku.jp)  
兵庫県立人と自然の博物館 研究員 福本優 [fukumoto@hitohaku.jp](mailto:fukumoto@hitohaku.jp)
- (8) 各回のテーマ :
  - 第1回 6月10日 「イネ科標本の世界」 (高野温子)
  - 第2回 7月8日 「海の無脊椎動物たち ～イカタコエビカニ～」  
(和田年史・三橋弘宗・山内健生)
  - 第3回 8月12日 「美しい蝶類標本 ～江田コレクションの魅力～」 (橋本佳明・山内健生)
  - 第4回 9月9日 「色んな資料で見る阪神間の風景」 (福本優、赤澤宏樹、藤本真里、大平和弘)
  - 第5回 10月14日 「アンモナイト大集合」 (生野賢司・佐藤裕司)
  - 第6回 11月11日 「モミジをさがせ！」 (高野温子・橋本佳延)
  - 第7回 12月9日 「鳥類標本の世界 ～小林コレクションより～」 (布野隆之)
  - 第8回 2月11日 「コレクションをもっと活用するには？」 (三橋弘宗・福本優)

第3回と第7回は、後日記者発表を行う内容の関連イベントとして実施します。  
また、第8回は、「共生のひろば」にて実施します。

## 収蔵資料スペシャル企画 「標本のミカタ～コレクションから新しい発見を生み出す～」

### 第1回「イネ科標本の世界」

#### 2 主旨（「イネ科標本の世界」）

県立人と自然の博物館には160万点を超える資料が収蔵されています。今年度から標本資料をふんだんに使い、その面白さや標本を用いた自然の読み解き方を解説するスペシャル企画「標本のミカタ～コレクションから新しい発見を生み出す～」を、毎月第2日曜日(平成31年1月を除く)に開催していきます。

第1回目は「イネ科標本の世界」と題し、3000点程ある当館収蔵イネ科標本から、厳選した標本・ドライフラワー等を約50点展示します。また、関連イベントとして世界三大穀物の1つである小麦の起源セミナー、身近なイネ科植物を題材とした画伯の日も実施します。雑草から食料まで何かと人間に身近なイネ科植物、その魅力の一端を感じて頂ければと思います。

#### 3 実施概要

- (1) 期 日 : 平成30年6月10日(日)
- (2) 場 所 : 兵庫県立人と自然の博物館 4階大セミナー室、ひとはくサロン
- (3) 展 示 物 : イネ科標本・ドライフラワー 約50点、イネ科の分子系統樹絵巻

#### 4 関連イベント

##### (1) ギャラリートーク

「コムギとヒトの深い関係」(森直樹 神戸大学大学院農学研究科 教授)

13:00~13:30 場所: ひとはくサロン オープンラボ

実体顕微鏡やスライドを使って、栽培小麦の起源、野生と栽培の小麦の違いを易しく解説します。

##### (2) オープンセミナー

「お出かけ画はくの日 イネ科植物を描こう」(フロアスタッフ、高野温子主任研究員)

13:30~14:00 集合場所: ひとはくサロン(野外に出ます。雨天の場合は館内のみで実施)

博物館の周辺に生えているイネ科植物を見に行き、気に入ったものを選んで絵を描きます。

#### 5 担当

兵庫県立人と自然の博物館 自然・環境評価研究部 主任研究員 高野温子 [takano@hitohaku.jp](mailto:takano@hitohaku.jp)

#### 6 展示資料(予定)



酒米「山田錦」のドライフラワー



スズメノチャヒキ標本

6月10日(日)

イネ科標本の世界

イネ、ムギ、トウモロコシなど、人類が繁栄する上で欠かせないイネ科植物は世界に1万2000種が知られる大きなグループです。その多様性と形成の歴史、品種について、標本を使って解説します。



7月8日(日)

海の無脊椎動物たち  
～イカタコエビカニ～

海の中には、魚以外にも様々な動物が棲んでいます。食卓に登場するイカ、エビ、カニはほんのごく一部の種類だけで、実際には多様な種類が生息しています。標本を使って、海洋生物の多様性について学びます。



収蔵資料  
スペシャル  
企画

# 標本のミカタ

～コレクションから新しい発見を生み出す～  
6月より毎月第2日曜日 13時～16時半

8月12日(日)

美しい蝶類標本  
～江田コレクションの魅力～

江田コレクションは、世界の昆虫約15万点の標本からなる、ひとはくが誇る大型コレクションです。このコレクションの中から厳選した美しき蝶たちの標本を展示解説します。



9月9日(日)

色んな資料で見る  
阪神間の風景

阪神間のさまざまな風景を、様々な資料で見比べます。絵図で表現されている事、古写真に写っているもの、映画に映し出される風景。同じ場所を、時代を超えた、様々な目線で見比べます。



10月14日(日)

アンモナイト大集合



世界各地で採取されたアンモナイトの化石が勢揃いします。今まさに研究されている種類や、異常巻と呼ばれる変わった形の種類など、普段は見られない標本も使ってアンモナイトの魅力や進化の歴史に迫ります。

11月11日(日)

モミジを  
さがせ!

兵庫県産カエデ科植物20種あまりの標本を一室に並べます。モミジ〇〇と名前がつく植物の標本も並べます。紛らわしい他科の標本と見比べて、どれが本物のモミジか当ててもらおうクイズ形式の展示も行います。



12月9日(日)

鳥類標本の世界  
～小林コレクションより～

世界でも有数の鳥類のコレクションである小林桂助コレクションの魅力をお伝えします。卵の標本や近くで見初めて分かる鳥類の特徴について解説します。



“標本のミカタ”って??

博物館が収蔵する標本をふんだんに使って、自然環境や地球の成り立ちについて、読み解き方や観察のポイントを解説します。普段は、収蔵庫に保管されていたり、ケースの中にあって間近で観察することができませんが、この企画では、実際に取りだした標本を顕微鏡などの道具を使ってじっくり解説いたします。テーマと関連したイベントも併せて実施されます。標本に関心のある方は、ぜひお越しください。